

腰椎椎間板ヘルニア切除、椎弓形成術 を受けられる患者さんへ

患者氏名

様

患者さん用

主治医名 :

受持看護師名 :

月日(日時)	/	/	/	/	/	/	/ ~ /	/	/ ~ /	/	/ ~ /	/ ~ /
経過(病日等)	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日	手術後3日	手術後4~6日	手術後7日	手術後8~9日	手術後10日	手術後11~15日	退院(手術後16~17日)
達成目標	患者及び家族が手術・麻酔の説明を理解し同意している 手術に安全に臨むことができる	手術前の絶飲食指示が守られている	手術・麻酔から早期に回復する 痛みがコントロールできる 手術のキズからの出血がコントロールできる	状態が安定している 痛みがコントロールできる 手術のキズからの出血が多くない 食事が開始できる 肺塞栓症を発生しない	手術のキズからの出血が少ない 離床が可能となる 肺塞栓症を発生しない	手術のキズからの出血がない 肺塞栓症を発生しない 便秘にならない		痛みがコントロールできる 手術のキズが化膿しない	手術のキズ治癒が良好で 抜糸ができる	痛みのコントロールができる 退院について患者・家族が理解する 神経症状が悪化しない		
治療・薬剤 (点滴・内服) リハビリ	麻酔科の診察があります	点滴を行います(ただし、10時までの手術の方は手術室で点滴が開始となります)		点滴を行います 内服が再開となります 痛み止めのお薬が始まります		問題なければ 夕方の抗生物質の点滴後、 点滴の管は 抜去します						薬剤師からの服薬指導 があります
処置	検温させていただきます ストッキングのサイズ測定をします 必要時、体重測定を行います 術後に使用するコルセットの持参を確認します	ストッキング着用、手術衣に着替えます マスクで酸素を口元に流します 装具類はすべて外していただきます 点滴の管を留置します(ただし、10時までの手術の方は手術室で点滴が開始となります)	腰部に管が入っています マスクで酸素を口元に流します 手術後の肺塞栓症を予防するために ストッキングを着用、足の運動を行う 機械を装着します 足首の運動も積極的に行ってください	腰部に管が入っています 手術のキズからの出血が多い場合のみ ガーゼ交換を行います ストッキング着用、足の運動を行う 機械を装着します 足首の運動も積極的に行ってください	ガーゼ交換を行います ストッキングを着用、 足の運動を行う機械を 装着します 足首の運動も積極的に 行ってください	自由に車イスに乗れるようになる、 歩行器歩行が安定するまで、ストッキングを着用、 足の運動を行う機械を装着します 足首の運動も積極的に行ってください		ガーゼ交換を 行います	抜糸を行 います			
検査			手術後、手術室でレントゲン検査を します。	血液検査があります				レントゲン写真、 血液検査を行 います	血液検査が あります			
活動 安静度	特に制限はありません	制限はありません 手術室へは寝たままの状態のスト レッチャーでお連れいたします	体の向きを変えたいときは看護師を呼 んでください	ベッド上でコルセットを装着し、頭部 を 挙上できます 体の向きを変えたいときは看護師を 呼んでください	腰部からのドレーン(排液用の管)が 抜ければ、離床を開始します。これ は、(術前の神経症状や術後の全身状態 により早まったり遅くなる場合があ りますが)車椅子による移動、歩行器 による歩行を目標とします。終日、 腰にコルセットを着用していただきます					手術後10日目より、座位にて腰椎コ ルセットの着脱が可能です		
食事	絶飲食の説明をさせていただきます	飲んだり食べたりできません		食事を取っていただきます								
清潔	シャワー浴をしていただきます 男性の患者さんはヒゲを剃っていただきます	午前中にシャワー浴をしていただき ます その際、看護師が背中を泡洗浄しま す		お体拭きと着替えを行います	週3回、お体拭きと着替えをいたしま す 週2回、洗髪と足浴を行います					医師の診察の上、 抜糸後、翌日以降 はシャワーができ ます	入浴は退院後2週間 すれば可能です	
排泄	制限はありません	手術予定時間の30分前には排泄を お済ませください	ベッド上での排泄となります。排尿用の管が入っています		手術のキズからの排液用の管(ドレーン)を 抜去後から、状態に応じて排尿用の管を 抜去し、車椅子もしくは歩行器にて トイレに行きます							
患者様及び ご家族への説 明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	手術に向けて担当看護師から入院経 過の概略に関する説明があります 手術当日は、手術が終わるまで家族に 待期していただきます	静脈血栓症予防のため、ストッキ ング 着用、下肢運動の必要性に関 しての 説明を行います	手術後、担当医から手術に関する説 明があります。	臥床時も含め、終日コルセットは着用 して下さい ただし、就寝時はゆるめていただい ても結構です コルセットは術後3ヶ月装着します						退院後の生活に ついて説明させ ていただきます (正しい姿勢・腰 椎コルセットにつ いて)	経過が良いようなら退 院を含めて今後の相談 を行います	

入院時の持ち物:手術に必要な書類(承諾書、麻酔同意書、輸血同意書)、お薬手帳と普段のお薬、和式の浴衣2枚、前開きパジャマ、バスタオル、ストロー数本、お持ちであれば吸い口、はき慣れた運動靴、普段使用があれば杖、コルセット

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進め

いくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

三菱京都病院 整形外科 2018.6 作成

年 月 日
本人または代諾者名()